

一、此書之別本外以部三書方官本

出後千手院瑞王塔而如摩訶下以名其塔寺徑傍法明  
以後寺中祇存摩訶下之塔云

[illegible][illegible]

三編年毎卷五十五篇各以六十四卦爲章

昨の因縁  
 今も存心せむと云ふに  
 此の如く

船重車重之而役  
 國之懷遠民以保中  
 國人也此仕向來之  
 任事者有年何其

是則例爲有力之狀也 此意所存以爲保名以助其也  
 在者以爲其體以統而之者至其後又勿偏以以乃左

平陽府志卷之四

例、此個、道、を、知、る、二、の、字、御、在、大、候、也、

市爲要定例取收以部主滿方今之區主之也  
地之山川等事及之文字多印圖紙印刷利便

張王乃房叔也  
 任事所主後知事  
 之要張王乃房叔也  
 任事所主後知事

即亦作此言矣 但中作之者乃在石上  
而面刻之者乃在石上

分良刻意多讀大乃每物各取五五中  
字字錄取如之公就文志為福年收信注的之劉卿在

[illegible]

卷之六

又、後、有、り、候、に、依、り、ま、る、様、子、の、事、を、  
十、月、十、日、  
う、り、申、す、に、依、り、ま、る、様、子、の、事、を、  
う、り、申、す、に、依、り、ま、る、様、子、の、事、を、

十七日

月候

又、後、有、り、候、に、依、り、ま、る、様、子、の、事、を、

十、月、十、日、  
う、り、申、す、に、依、り、ま、る、様、子、の、事、を、

又、後、有、り、候、に、依、り、ま、る、様、子、の、事、を、

十、月、十、日、  
う、り、申、す、に、依、り、ま、る、様、子、の、事、を、

十七日

月候

又、後、有、り、候、に、依、り、ま、る、様、子、の、事、を、  
十、月、十、日、  
う、り、申、す、に、依、り、ま、る、様、子、の、事、を、

後、*（faint handwritten text）*

*（faint handwritten text）*

*（faint handwritten text）*

*（faint handwritten text）*

*（faint handwritten text）*

*（faint handwritten text）*

*（faint handwritten text）*

*（faint handwritten text）*

*（faint handwritten text）*

*（faint handwritten text）*

*（faint handwritten text）*

*（faint handwritten text）*

*（faint handwritten text）*

*（faint handwritten text）*

*（faint handwritten text）*

*（faint handwritten text）*

[illegible]

十月廿二

十八

一、此乃風邪之起也

[illegible][illegible]

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

[illegible]

江中一節

卷之四

上  
中  
下

*(Calligraphy)*

一  
此乃  
不  
大  
小  
之  
人  
也







Handwritten text in a cursive script, likely a list or index, with several lines of text.

Handwritten text in a cursive script, likely a list or index, with several lines of text.

Handwritten text in a cursive script, likely a list or index, with several lines of text.

Handwritten text in a cursive script, likely a list or index, with several lines of text.

Handwritten text in a cursive script, likely a list or index, with several lines of text.











[illegible]

聖方々々

16

[illegible]

10

吳昌碩

中用之

留

天保四年六月十五日

一、待地之

中、有るは、（一）佐夜半の夢に、（二）才維無憂  
天竺を渡りて、（三）年五十の父の如く、（四）又、（五）又、（六）  
（七）食を新す、（八）由つて、（九）何れも、（十）も、（十一）也、（十二）  
（十三）否、（十四）否、（十五）也、（十六）也、（十七）也、（十八）也、（十九）也、（二十）





一 諸君等、此の御書より、一々、中々、お聞き、

ちう、上、向、違、ひ、の、り、ま、る、の、事、付、大、事、和、由、希、御、書、

十月九日

御月日

一 皇、德、院、御、中、法、事、中、の、り、の、御、座、に、お、被、引、一、分、

一 皇、德、院、御、中、法、事、中、の、り、の、御、座、に、お、被、引、一、分、

一 中、の、り、の、御、座、に、お、被、引、一、分、

一 中、の、り、の、御、座、に、お、被、引、一、分、

一 中、の、り、の、御、座、に、お、被、引、一、分、

一 中、の、り、の、御、座、に、お、被、引、一、分、

一 中、の、り、の、御、座、に、お、被、引、一、分、





山田孝

十月九日  
 吉野の三王様御前  
 山内康成

[illegible][illegible]

年々あつたが都の方にも受あつたが又  
あつたが 江戸に都の方にも受あつたが  
松平あつたが 江戸に都の方にも受あつたが  
あつたが 江戸に都の方にも受あつたが  
あつたが 江戸に都の方にも受あつたが  
あつたが 江戸に都の方にも受あつたが

江戸に都の方にも受あつたが  
あつたが 江戸に都の方にも受あつたが  
あつたが 江戸に都の方にも受あつたが  
あつたが 江戸に都の方にも受あつたが  
あつたが 江戸に都の方にも受あつたが  
あつたが 江戸に都の方にも受あつたが

あつたが 江戸に都の方にも受あつたが  
あつたが 江戸に都の方にも受あつたが  
あつたが 江戸に都の方にも受あつたが  
あつたが 江戸に都の方にも受あつたが  
あつたが 江戸に都の方にも受あつたが  
あつたが 江戸に都の方にも受あつたが

大三日

江戸に都の方にも受あつたが

あつたが 江戸に都の方にも受あつたが  
あつたが 江戸に都の方にも受あつたが  
あつたが 江戸に都の方にも受あつたが  
あつたが 江戸に都の方にも受あつたが  
あつたが 江戸に都の方にも受あつたが  
あつたが 江戸に都の方にも受あつたが



一 寺に寄る入 寺に寄る入 寺に寄る入

一 寺に寄る入 寺に寄る入 寺に寄る入

一 寺に寄る入 寺に寄る入 寺に寄る入

一 寺に寄る入 寺に寄る入 寺に寄る入

一 寺に寄る入 寺に寄る入 寺に寄る入

一 寺に寄る入 寺に寄る入 寺に寄る入

一 寺に寄る入 寺に寄る入 寺に寄る入

一 寺に寄る入 寺に寄る入 寺に寄る入

一 寺に寄る入 寺に寄る入 寺に寄る入

一 寺に寄る入 寺に寄る入 寺に寄る入

一 寺に寄る入 寺に寄る入 寺に寄る入

一 寺に寄る入 寺に寄る入 寺に寄る入

一 寺に寄る入 寺に寄る入 寺に寄る入

一 寺に寄る入 寺に寄る入 寺に寄る入

[illegible]

印所紙字  
 書面四字讀理出後平陽人  
 言而所書年月亦在玉版  
 書中一依依仕者之無  
 餘安否加之為書也  
 五斗子年八上  
 十月九年

一、以多為少，以少為多。

漢江低海亭より西へ走ると、

大月寺

杖藜翁

不食言也。此書亦門中人所撰。代書。其字。乃。服。之。何。人。以。此。為。事。也。

南無

古之村士多師乃後代漢王車書所收亦多  
以陰謀為多矣

中山田舎市

右支平國書王函以作作書付李勣勣王侯侯

十月五日

一、市上之貨物，其價必貴，故凡在市上交易者，必先察其貨物之貴賤，然後可以知其價之貴賤也。









其六日

三月三日

一、古くは...

一、古くは...

一、古くは...

一、古くは...

一、古くは...

一、古くは...

一、古くは...

一、古くは...

一、古くは...

一、古くは...

一、古くは...

一、古くは...

一、古くは...

一、古くは...

一、古くは...

一、古くは...

一、古くは...

一、古くは...

一、古くは...

一、古くは...

一、古くは...

一、古くは...

一、古くは...

一、古くは...

一、古くは...

一、古くは...

一、古くは...

一、古くは...

一、古くは...

一、古くは...

一、古くは...

一、古くは...

一、古くは...

一、古くは...

一、古くは...

一、古くは...

一、古くは...

別紙に云々云保二年二月別紙に云々云々  
其の旨は此の如く也  
右の如く云々云保七年四月廿五日

同日午年三月廿日  
此の旨は此の如く也  
右の如く云々云保七年四月廿五日

十日廿五日  
此の旨は此の如く也  
右の如く云々云保七年四月廿五日

大保七年四月廿五日  
此の旨は此の如く也  
右の如く云々云保七年四月廿五日

此の旨は此の如く也  
右の如く云々云保七年四月廿五日  
此の旨は此の如く也  
右の如く云々云保七年四月廿五日

定例の如く云々云保七年四月廿五日  
此の旨は此の如く也  
右の如く云々云保七年四月廿五日

